

各地で、大型受注が進む

各地で改修案件など、受注に頑張っています。リニューアル工事部では、JR東海様の工場内にできる新築建屋の防水工事をJR東海建設様より受注。8月、9月にかけて施工予定です。阪神営業所では、愛媛県の改修工事を指定されて受注し、泊まり込みで実施。京滋営業所では、京都の嵐山にある法輪寺の舞台の大型の改修工事を受注。この舞台からは、渡月橋を見下ろすことができ、見事な眺望とのこと。お寺さんのHPを調べてみて下さい。法人三河営業所では、豊川市の小動物園の改修工事を実施。東京事業部防水課では、数年前にビルワークで外壁診断を実施した新宿にあるビルの改修工事を受注。各地で、戸建て住宅ではない大型の工事が、増えてきています。皆さんのいろいろな努力により、受注の種類が変化をしてきました。

ヒアリについて

ヒアリが、話題になっています。状況から考えて、かなりの数がすでに日本に生息しているのではないかと考えられます。当社もヒアリ関連株ということになるのか、7月も株価はあがりました。社員の皆さんは、お感じと思いますが、当社の業績は、ヒアリとは全く関連性がないと思います。確かに既に多くが日本で生息していると思われませんが、業績に影響を及ぼすような量とは、さすがに思われません。また、技術的には、当社においてもヒアリの駆除は可能ですが、ヒアリは外来種のため、もしヒアリに関するお話があったとしても、まずはアリの種類をしっかりと同定する必要があり、本当にヒアリの可能性があるようでしたら最寄りの関連諸官庁に届け出を行わないといけません。ヒアリであった場合でも、役所の指示に従い、対応するだけで、勝手に駆除をしてはいけません。

不動産課で、 賃貸収益事業も始める

中古物件の買取、リノベーション、再販を行ってきた不動産課で、賃貸事業も始めました。買い取って、リノベーション後、販売と賃貸の両方で営業を行っていたところ、大手企業が宅宅と

して賃貸したいということで、契約が成立しました。また、賃貸中マンションの購入契約も成立し、現在の賃借人が賃貸を継続している間は賃貸収入を得る予定で、その後は再販もしくは、新たな賃借契約を行うということになります。請負工事だけでなく、既存の建設ストックを生かしたいろいろな収益方法を模索しています。

三河営業所倉庫の建て替え

三河営業所に隣接している倉庫を建て替え、倉庫兼事務所にして、法人三河営業所が使用する計画で、設計を進めています。三河営業所も手狭になり、岡崎店や住宅メンテナンスでは、増員も難しい状況でしたが、そうした問題も解消され、リフォーム店舗としてショールームを充実させることもできるようになります。建て替えのため仮設倉庫が必要になり、工事中は苦労しますが完成後は綺麗な建物となり快適な職場環境になると思います。

大阪事業部新築工事

日本建設様にお願いした大阪府豊中市の大阪事業部新築工事は、順調に建設が進められています。7月 19日、20日に自社工事として実施した防水工事も無事完了。今回、当社社屋として初めて、指紋認証による施錠システムと、ALSOKさんの警備システムを導入する予定です。



中津川店の閉鎖

8月いっぱいを目途に、中津川店を閉鎖します。業務は、各務ヶ原市にある岐阜営業所でそのまま引き継いで行います。

スマホ導入

会社貸与の携帯電話を、スマホとガラケイの選択制にします。工事予定の確認、協力業者様や元請様との連絡、写真撮影や報告書の作成業務の効率化などに活用できれば、ということです。当然、月々の使用料は、スマホの方が高いのですが、それ以上の効率化、サービス向上につなげるということです。ただ、便利ということだけでなく、数字として目に見える形で業務改善につながらないと導入した意味がありません。また、次は、リフォーム等の提案においてタブレット等の導入を検討中です。この場合、通話は、ガラケイを利用し、インターネットによる通信は、タブレット利用になります。提案や説明資料として、紙媒体のカタログ利用も継続されると思いますが、資材メーカー様もWEBカタログや様々な提案ソフトなども充実してきており、過去の工事例の紹介など写真を沢山保存してあれば、会社で印刷してお持ちするだけでなく、画像としてその場で提案できるようになり、スピードが上がりサービス向上に結び付けることができると考えられます。進歩の著しい道具に振り回されてもいけません、上手に利用して、他社に負けないハイクオリティーな仕事にしていくことも大切です。

スマホへ変更の申請をする方は、「法人契約携帯電話スマートフォン変更申請書」を記入し、8月12日(土)までに総務部まで提出をお願いします。



施工事例紹介

- 施工場所 小牧市 様邸
- 仕様 外壁トタン張替、外壁塗装



施工前



施工後



施工後

■担当 名古屋東店 篠原 ともよ

今回の施工事例は外壁工事です。もともとは木目調のトタンが貼られていました。

紫外線による退色や汚れが気になることと、トタンの経年劣化が見受けられたため、サビにくく、防水性の高いガルバニウム鋼板への張替をおすすめしました。外観にメリハリをつけるため、モルタル壁部分は残し、それに伴ってモルタル部分と木部の塗装も行いました。

まったく違った印象の外観となり、お施主様にもとても喜んでいただけました。

入社社員紹介

- ★鈴木 海 リニューアル工事部 28歳
趣味：フットサル
「日々成長できるよう、勉強、反省をしていきたい
と思います。」

ちょっと一言

「光陰矢のごとし」



リニューアル工事部 主任
戸松 俊

皆様お疲れ様です。

立秋を前にしてまだ暑い日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。自分でこの文を書きながらカレンダーを見て驚きました。もう暦の上では秋が訪れるのですね。つい先日寒さが和らいできましたね。と、社員同士で話していたはずなのに・・・。

もう忘年会の準備を始めないですね。

今回表題にさせて頂きました「光陰矢のごとし」ですが調べてみると月日が経つのは物凄く速いですね。と言う意味だけではなく、二度と戻ってこないから、無為に送るべきではないという戒めを含んでいるようです。表題にしたからには今後はこの戒めを胸に日々を過ごそうと思います。

さて、話は変わりますが、仕事をしていますと多くの方と会ってお話する機会があります。以前、本屋に行った際に人と話すハウツー本が目にとまり手に取って内容を流し見したことがあるのですが、その中に「相手が何を求めているかを探るのではなく、相手に言わせろ。」と書いてありました。その著者曰く、探るという行為は相手のパーソナルスペースに踏み入ることであるから相手に不快感を与えるとのことでした。元々影響されやすい体質の私はこれを見て以来、自分の話題の引き出しを増やすことを始めました。そのお陰なのか広く浅く色々な知識が身に付きました。

例えばタバスコはアントニオ猪木が経営していたお店で大々的に目玉商品として使い普及させたとされています。

最後にそのアントニオ猪木の名言から一番好きな言葉を抜粋したいと思います。

「この道を行けばどうなるものか、危ぶむなかれ。危ぶめば道はなし。踏み出せばその一足が道となる。迷わず行けよ。行けばわかるさ。」

立秋とは名ばかりの暑さ続きでございます。夏風邪など召されませぬよう皆様どうぞご自愛ください。

